



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月12日

上場会社名 株式会社コシダカホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2157 URL https://www.koshidakaholdings.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 腰高 博
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 土井 義人 (TEL) 03-6403-5710
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	6,546	△58.0	△983	—	△795	—	△565	—
2020年8月期第1四半期	15,577	5.5	1,073	△21.5	1,177	△25.5	700	△32.1

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 △598百万円(—%) 2020年8月期第1四半期 619百万円(△57.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	△6.94	—
2020年8月期第1四半期	8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	42,379	21,986	51.9
2020年8月期	44,555	22,911	51.4

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 21,986百万円 2020年8月期 22,911百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	8.00	—	4.00	12.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	2.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2021年1月12日)公表いたしました「2021年8月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、期末配当金予想につきましては、未定としております。

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,464	△60.4	△2,054	—	△1,904	—	△1,101	—	△13.50
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想につきましては、現時点で今後における新型コロナウイルス禍拡大に伴う影響額を把握することが著しく困難であるため、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で改めて公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名) ー 、除外 ー社(社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年8月期1Q	82,300,000株	2020年8月期	82,300,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	767,296株	2020年8月期	767,296株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年8月期1Q	81,532,704株	2020年8月期1Q	81,371,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、外需と生産活動の持ち直しにより、企業収益は緩やかに回復するも、新型コロナウイルス禍により大きく落ちこんだ個人消費は、失業率の増加と賃金の減少も相まって、依然足踏み状態です。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[カラオケ]

新型コロナウイルス禍による業績への影響は、夏以降感染第2波が収束に向かったことで、一旦は改善に転じたものの、10月下旬より更に大規模な感染第3波に見舞われ、急激に落ちこみました。

このような環境下で、新型コロナウイルスに感染しやすい業態イメージを払拭し、足が遠退いている顧客層を呼び戻していくために、安心安全と健康の確保を最重視した店舗運営を継続しております。

カラオケルームでの各種ライブビューイングの開催やその他デジタルエンタテインメントの開発提供により、ルームでの楽しみ方の多様化複合化に取り組んでおります。

首都圏を中心とした新店開設と既存店の移転或いは増室、及び低採算店の整理に、引続き努めました。

人材の採用と育成を通じて、店舗での接客力と組織としての結束力を高めていくために、社内研修施設「まねき塾」の移転と設備の拡大並びに教育体制の拡充に、着手いたしました。

海外展開方針は変わらぬものの、現在は各国政府要請に従いその殆どが休業中であり、営業再開の機に備えております。

当第1四半期連結会計期間末のカラオケセグメント国内店舗数は、前連結会計年度末比7店舗増加し532店舗、海外店舗数は22店舗（シンガポール9店舗、韓国5店舗、マレーシア6店舗、タイ1店舗、インドネシア1店舗）となりました。

この結果、カラオケセグメントの売上高は61億33百万円(前年同期比21.0%減)、セグメント損失は7億37百万円(前年同期比5億63百万円損失額増加)となりました。

[温浴]

カラオケ事業と同様に、安心安全と健康の確保を最重視した店舗運営を継続しております。

この結果、温浴セグメントの売上高は2億67百万円(前年同期比30.1%減)、セグメント損失は36百万円(前年同期比40百万円利益額減少)となりました。

[不動産管理]

前橋駅北口の自社保有複合商業施設「アクエル前橋」内地下1階に10月、新しい体験型エンターテインメント施設として「HADO ARENA」「ENNICHI by 1→10」を開設し、自社運営をスタートいたしました。

この結果、不動産管理セグメントの売上高は1億45百万円(前年同期比9.2%増)、セグメント損失は35百万円(前年同期比54百万円損失額減少)となりました。

以上により、当社グループ(当社及び連結子会社)の当第1四半期連結累計期間の売上高は65億46百万円(前年同期比58.0%減)、営業損失9億83百万円(同20億56百万円利益額減少)、経常損失7億95百万円(同19億72百万円利益額減少)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億65百万円(同12億66百万円利益額減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ21億76百万円減少し423億79百万円(前連結会計年度末比4.9%減)となりました。

(流動資産)

流動資産は36億42百万円減少し101億10百万円(同比26.5%減)となりました。これは主に、有価証券が20億円および現金及び預金が17億89百万円減少したことなどによるものです。

(固定資産)

有形固定資産は8億76百万円増加し234億44百万円(同比3.9%増)となりました。これは主に、建物及び構築物(純額)が5億67百万円および車両運搬具及び工具器具備品(純額)が3億63百万円増加したことなどによるものです。

無形固定資産は2億7百万円増加し5億58百万円(同比59.0%増)となりました。これは主に、ソフトウェアが79百万円増加したことなどによるものです。

投資その他の資産は3億82百万円増加し82億65百万円(同比4.8%増)となりました。これは主に、繰延税金資産が2億59百万円および敷金及び保証金が99百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の総額は14億66百万円増加し322億68百万円(同比4.8%増)となりました。

(流動負債)

流動負債は7億11百万円減少し97億56百万円(同比6.8%減)となりました。これは主に、未払金が6億96百万円増加した一方で、短期借入金が5億円、未払費用が2億37百万円および1年内返済予定の長期借入金が2億37百万円減少したことなどによるものです。

(固定負債)

固定負債は5億40百万円減少し106億35百万円(同比4.8%減)となりました。これは主に、長期借入金が5億21百万円減少したことなどによるものです。

負債の総額は12億51百万円減少し203億92百万円(同比5.8%減)となりました。

(純資産)

純資産は9億24百万円減少し219億86百万円(同比4.0%減)となりました。これは主に、利益剰余金が8億91百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス禍第3波は拡大の一途を辿り、連日のマスコミ報道により顧客不安も大いに募り、最大商盛期の12月の売上客数は半減近くまで落ち込み、その後も続いています。

このような状況下、2020年10月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間の業績予想を変更し、現時点において売上高134億64百万円(前年同期比60.4%減)、営業損失20億54百万円(前年同期比69億34百万円利益額減少)、経常損失19億4百万円(前年同期比71億35百万円利益額減少)、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億1百万円(前年同期比45億26百万円利益額減少)を見込んでおります。

新型コロナウイルス禍の拡大は更に続いており、遂に政府による緊急事態宣言が再発出されるに至りました。現在その収束時期が予測し難く、残り半年間の合理的な業績予想が著しく困難な状況に陥っており、今回は通期の連結業績予想を見合わせることにいたしました。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,890,483	8,100,818
受取手形及び売掛金	196,659	206,315
有価証券	2,000,000	—
商品	19,241	19,258
原材料及び貯蔵品	263,580	239,165
その他	1,383,496	1,560,730
貸倒引当金	△377	△15,533
流動資産合計	13,753,085	10,110,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,616,549	17,183,943
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	2,934,113	3,297,433
土地	2,795,246	2,795,246
建設仮勘定	221,892	167,916
有形固定資産合計	22,567,802	23,444,540
無形固定資産		
のれん	15,718	15,491
ソフトウェア	186,538	265,642
その他	148,946	277,285
無形固定資産合計	351,203	558,420
投資その他の資産		
投資有価証券	869,819	873,918
関係会社株式	78,995	78,990
長期貸付金	807,013	829,315
長期前払費用	84,743	82,146
敷金及び保証金	4,433,530	4,532,965
繰延税金資産	1,722,114	1,981,246
その他	177,310	177,113
貸倒引当金	△289,780	△289,780
投資その他の資産合計	7,883,747	8,265,915
固定資産合計	30,802,753	32,268,875
資産合計	44,555,839	42,379,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	235,458	347,118
短期借入金	4,500,000	4,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,585,328	2,347,828
未払金	516,771	1,213,248
未払費用	1,233,231	995,625
未払法人税等	18,212	5,947
賞与引当金	113,007	57,470
預り金	287,142	99,421
その他	978,958	690,239
流動負債合計	10,468,110	9,756,897
固定負債		
長期借入金	6,910,687	6,389,355
繰延税金負債	240,136	239,676
資産除去債務	2,956,500	3,043,360
その他	1,068,611	963,438
固定負債合計	11,175,936	10,635,830
負債合計	21,644,046	20,392,728
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,070,257	2,070,257
資本剰余金	3,302,786	3,302,786
利益剰余金	17,474,182	16,582,369
自己株式	△105,662	△105,662
株主資本合計	22,741,564	21,849,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,447	47,351
為替換算調整勘定	128,780	89,800
その他の包括利益累計額合計	170,228	137,151
純資産合計	22,911,792	21,986,902
負債純資産合計	44,555,839	42,379,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	15,577,884	6,546,183
売上原価	11,856,410	6,637,194
売上総利益又は売上総損失(△)	3,721,473	△91,011
販売費及び一般管理費	2,647,624	892,003
営業利益又は営業損失(△)	1,073,849	△983,014
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,979	3,016
為替差益	17,391	59,228
店舗移転補償金	90,000	110,000
その他	26,182	34,674
営業外収益合計	136,552	206,920
営業外費用		
支払利息	16,798	7,192
支払補償費	—	9,714
その他	16,098	2,491
営業外費用合計	32,897	19,398
経常利益又は経常損失(△)	1,177,505	△795,492
特別利益		
固定資産売却益	—	74,175
投資有価証券売却益	592	38
特別利益合計	592	74,214
特別損失		
固定資産除却損	6,531	5,270
減損損失	—	76,843
特別損失合計	6,531	82,113
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,171,566	△803,391
法人税、住民税及び事業税	518,029	24,487
法人税等調整額	△47,292	△262,196
法人税等合計	470,736	△237,709
四半期純利益又は四半期純損失(△)	700,829	△565,682
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	700,829	△565,682

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	700,829	△565,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,528	5,903
為替換算調整勘定	△85,075	△38,980
その他の包括利益合計	△81,546	△33,076
四半期包括利益	619,282	△598,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	619,282	△598,759

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	7,759,237	7,302,650	382,734	133,262	15,577,884	—	15,577,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	7,759,237	7,302,650	382,734	133,262	15,577,884	—	15,577,884
セグメント利益又は損失(△)	△174,580	1,559,858	4,386	△89,619	1,300,044	△226,194	1,073,849

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△226,194千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	カラオケ	カーブス	温浴	不動産管理			
売上高							
外部顧客への売上高	6,133,223	—	267,455	145,504	6,546,183	—	6,546,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,133,223	—	267,455	145,504	6,546,183	—	6,546,183
セグメント利益又は損失(△)	△737,822	—	△36,608	△35,545	△809,976	△173,037	△983,014

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△173,037千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

3. 前連結会計年度において、カーブス事業に分類していた株式会社カーブスホールディングスの当社が保有する全株式を現物配当により当社株主へ分配したことに伴い、株式会社カーブスホールディングス、Curves International, Inc.、株式会社カーブスジャパン及び株式会社ハイ・スタンダードの4社を連結の範囲から除外いたしました。このため、当第1四半期連結累計期間においてカーブス事業の売上高及びセグメント利益の計上はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失及びのれん等の重要な変動について、該当事項はありません。